

水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課 R1.7.4



紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立安原小学校4年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所の流水調整課3名が、見学のご案内をいたしました。

この日は、午前中にご案内した他校に引き続き、午後からも魚道観察室やきらめき館をご案内しました。また、和歌山河川国道事務所長の防災教育の特別講義も行いました。前日の大雨から一転して、雨は上がり蒸し暑い一日となりました。

鮎の遡上の時期は、4月～6月頃ですが、7月の魚道観察室では、小さな鮎がちらほら遡上をする姿が見られました。

🍀 団体見学概要 🍀

日 時： 令和 1年7月4日(木)13:30～14:30
会 場： 水ときらめき紀の川館
参加人数： 94名
団 体 名： 和歌山市立安原小学校



1. 紀の川大堰概要説明

最初に、職員が大きなスライドを用いて紀の川や紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

午前中に、和歌山市内の他施設を見学してきたとのことで、少し疲れているのではないかと心配しましたが、最後まで集中力を切らすことなく、きらめき館でもしっかり学習していました。

2. 魚道の見学・館内の見学・展望デッキ



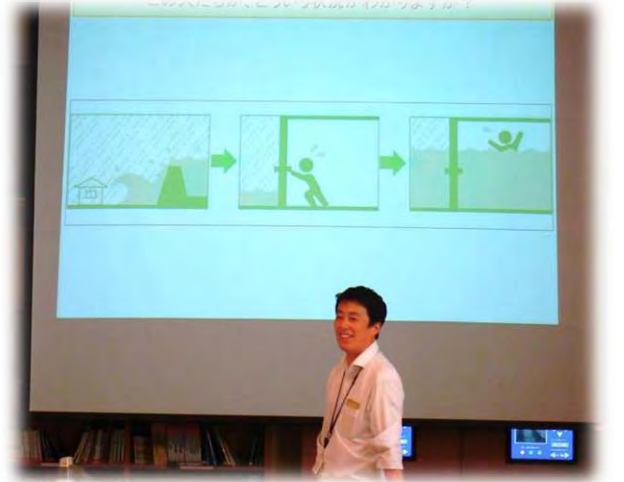
鮎の遡上の様子

今、1秒間に350トンぐらいの水が、大堰から流れているんだよ。



この日は、前日の大雨のため、たくさんの川の水を大堰から放流していました。普段は、一秒間に2トンから5トンの水を流していますが、今は、普段の70倍ぐらいの“350トン”の水を流しているとお伝えすると、みなさん想像もつかない量にびっくりしていました。

3. 防災教育 説明



災害から命を守るために覚えておくこと(津波)



午前の方に引き続き、和歌山河川国道事務所長が、防災教育に関して、スライドや動画を用いて特別講義を行いました。“津波の速度は、飛行機や車より早いかな？”“津波がどのくらいの高さだと流されてしまうかな？”など、災害時の質問に、生徒のみなさんは、色々な意見を発表してくれました。

質問



Q. どうして魚道に白い網を付けているのですか？

A. 魚道は、魚釣り禁止区域となっていますので、白い網を付けて釣りができないようにしています。また、魚道の魚を狙って飛んでくる鳥などから魚を守るためです。

